FIWC 関東
Friends International Work Camps
関東委員会
with S.C.I. (Service Civil International) Japan

定例委員会報告

2001.11

参加者：藤田準、服部雅行、鳥居厚志、笠眉彦、目黒美穂子、西尾雄志、（以上6名フル参加）
原田健一（部分参加）、茂木亮（終了間際に登場）、田中祐也（飲み会だけ参加）　以上9名

2001年11月10日（土）目黒鍼療院にて。
司会：西尾雄志
FIWC関東委員会の呼びかけで、SCI-Japanと合同で行っています。

活動報告

多磨全生園秋祭りちんどん

11月3日（土）多磨全生園の秋祭り（収穫祭）に、関東委員会のメンバーを中心としたチンドン隊が急遽駆けつけ、駆けつけ3杯ならぬ3曲ほどを演奏。アリラン会の方々をはじめ、園内外の参加者と交流を深めて来ました。

もともとFIWCのチンドン隊は、岡山の長島愛生園で毎年行われる夏祭りの際に、お祭りの会場にまで出てこられない園内の療養者のみなさんにもお祭りの雰囲気を味わっていただくために、住居の近くでニギヤカシができないだろうかと言う発想から、関西委員会のメンバーを中心に結成されたものです。

そのチンドン部隊に参加した関東在住のメンバーの中で、自分たちが住んでいる地域での活動も考えないとおかしいんじゃないかと言う声があがり始めた矢先、全生園のチャンゴサークル「アリラン会」からお話をいただき、今回のチンドン隊結成となったわけです。

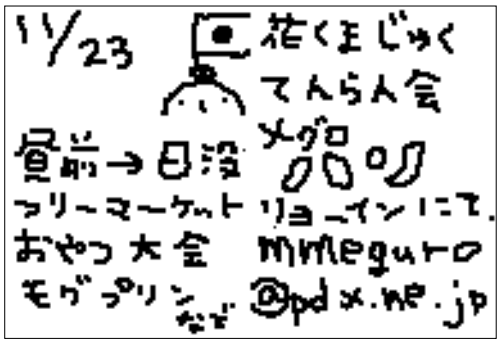
当日は荒天が予想される中、クラリネット・フルート・チャンゴ・ジャンベ・鐘・太鼓・ギターなど8名が急造チンドン隊に参加。「アリラン」「上を向いて歩こう」「安土屋ユンタ」などを急造ならではの絶妙なハーモニーで演奏し、お祭り会場を練り歩きました。幸い、しばらく天気は崩れず、他の出演者（おそろしいことにプロのチンドン屋さまもいらっしゃいました）ともども、祭りに幾ばくかの彩りを添えることができたのではと思っています。

また、チンドン隊とは別に関東委員会のメンバーが呼びかけた、全生園内のハンセン病資料館ツアーにも、学生など30数名が参加しハンセン病に関する歴史認識・理解を深めました。

祭りという「いま」と、これからも資料館に残されていくだろう「過去」。交錯し絡み合う2つの線を否応なしに実感させられた一日でもありました。

笠眉彦

千歳飴？



詳しくは3ページをご覧ください

FIWC関東定例委員会報告

シンポジウム：ハンセン病
―差別と共生を考える―

9月29日に森元美代治さんをお迎えしてシンポジウムを行ないました。当日は代々木ゼミナール講師の酒井敏行先生に、パネラーとして参加していただいたこともあって、多くの予備校生の人が参加してくれ、立ち見が出るほどの盛況でした。

以下、当日参加してくれた人のアンケート・感想です。

「TVや新聞では小泉首相の決断、などといったことにスポットがあたっていた。それは違うんだ。知っておくべき事が他にあるだろう。それはもっとハンセン病の人々の事、病気の事、政府が今まで対応してきたことは何だったんだ！？　ということだったんだ、と思いました。」（19才、女性、予備校生）

「今までテレビのニュースなどでハンセン病の問題について聞いたりする事はあったけれど、それは、表面的な部分しか述べられていなくて、本当の意味で一番苦しいはずの患者さんの声を生で聞くことなどありませんでした。（中略）私も浪人生活の間にこのような問題にぶつかり、大学で多くのことを考えられる人になりたいです。」（19才、女性、予備校生）

「熱い魂を感じました。森元さんの話が聞けてよかった。知識が乏しい僕にもはっきりと伝わってきました。」（20才、男性、予備校生）

西尾雄志

今後の活動予定

勉強会開催（FIWC関東）

1.「アフガニスタンの歴史、イスラム教の基礎知識」

11月18日（日）

日時：2001年11月18日（日）16:30～18:00

場所：早稲田奉仕園セミナーハウス101教室

発表者：田中祐也、高津阿礼（フィリピンキャンプ）

ニューヨークでのテロ事件、およびその報復活動を受けて、3月に予定されていたフィリピンキャンプも延期になりました。近年キャンプ地になっているフィリピンのレイテ島は、イスラム教勢力が強いミンダナオ島のとなりの島です。一連の事件を受けてフィリピンの治安状況も悪化しているとの情報が入ってきています。そこで今話題にのぼっているイスラム教やアフガニスタンのことを勉強し、その上でキャンプを通して自分達はどんな事が出来るか、といったことがフィリピンキャンパーの間で話題になりました。こういった経緯でこの勉強会が企画されました。

2.「集団論」

12月8日（土）

日時：2001年12月8日（土）17:00～20:00

場所：早稲田大学本部キャンパス12-3号館201教室（大隈銅像の左手後ろの建物）

発表者：阿木幸男（河合塾講師）

ワークキャンプをはじめとするボランティア活動は、個人の「自発性」をもとに展開されます。そういった何かをやろうとする人の自発性が、ボランティアの根源になるわけです。しかし、実際は何かをやろうと提案すると、呼びかけの中心になる人は、多くの仕事を抱え込むことになり、また様々な点で批判の槍玉にあがってしまいがちになります。ボランティアの根源である自発性が、往々にして人を損な立場に追いやってしまうというジレンマがあります。キャンプを企画するリーダーは多かれ少なかれ、そういったジレンマを感じながら、キャンプを企画しているのではないかと思います。そこで、自発性をもった「言い出しっぺ」を、損な立場に追い込むのではなく、何らかの形で応援できるような集団のあり方を、考えてみたいと思います。

西尾雄志

トーク＆討論会（予備校教師の会）

「報復活動の意味するもの、そしてこの国の行方は」 11月17日（土）

日時：2001年11月17日（土）18:00〜21:00

場所：代々木オリンピックセンター、センター棟409（小田急線「参宮橋」駅下車、徒歩5分）

テロ事件に対する報復活動の意味するところについて、討論会を行ないます。

パネラー：阿木幸男（河合塾講師）、生田卍（河合塾講師）、酒井敏行（代々木ゼミナール講師）、川本和彦（河合塾講師）、牧野剛（河合塾講師）、竹村洋介（武蔵大学講師）、杉本茂（科学技術学園高校教諭）

参加費：500円

＊予備校教師の会とは、1992年PKO法成立を機に、若者を戦場へ送ることを許してはならないと、結成した予備校教師、大学教員、高校教諭の有志の会です。その中心メンバーである阿木さんが、FIWC関東委員会のキャンパーだった事もあり、最近は様々な形でFIWC関東委員会と交流を持つようになりました。

予備校教師の会

「NPO・NGO研究ゼミ」（河合塾コスモ）

FIWC関東委員会のキャンパーだった河合塾講師の阿木さんのゼミです。河合塾の生徒以外の人も参加自由の研究会です。下記の予定で行なわれます。気軽に参加してください。ゼミの後も交流・食事会をしています。場所はすべて、河合塾コスモ校（最寄駅は、千駄ヶ谷もしくは代々木駅）2階ゼミルーム。

1. 緊急レポート「アフガンの難民は今」 11月16日（金）

日時：2001年11月16日（金）15:10〜16:40

話し手：谷山博史（JVC事務局長）

JVC（日本国際協力ボランティアセンター）は、タイ・カンボジア国境、エチオピア、アフリカ各地で難民救護活動を長年行なってきた団体です。現在、パキスタンでアフガニスタンからの難民救援プロジェクトを展開中です。

2.「ハンセン病を生きて、人間復帰への私の願いと闘い」 11月30日（金）

日時：2001年11月30日（金）15:10〜16:40

ゲスト：森元美代治

森元さんは、中学3年の時ハンセン病と診断され、地元の療養所を経て大学を目指し、東京の多摩全生園に入所しました。慶応大学卒業後、銀行に就職するものの、再発して再度療養所生活に。差別と偏見のなか、一貫してハンセン病患者の人権回復を訴え、国際的にも活動を続けています。

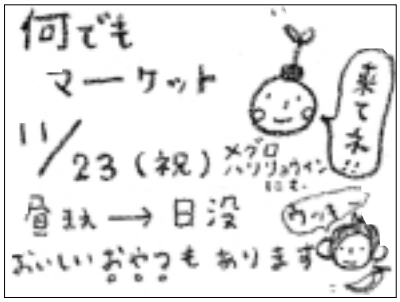
3. 海外青年協力隊経験者の体験談を聞く 12月7日（金）

日時：2001年12月7日（金）15:10〜16:40

西尾雄志

中村博志

メグマーケット



定例会の開催場所の「目黒はり療院」にて「何でもマーケット」を開催します。イラストなどの展覧会やポストカード、服、雑貨などの販売。映画上映もあるかも。さらにモグモグプリンや手作りおやつなど、おいしいモノも盛りだくさん！　リサイクル品の販売の収益はユニセフへ。勤労感謝の日は、目黒はり療院の何でもマーケットへ足を運びましょう！（地図は6ページ右下にアリ）

目黒美穂子

FIWC関東定例委員会報告

忘年会（FIWC関東）

12月15日（土）

日時：2001年12月15日（土）18:00〜

昨年と同じ六本木のインドカレー屋で忘年会開催。一人1本お酒持込みよろしく。なお、事前に人数を把握しておきたいので、出席したい人は西尾までご連絡されたし。会費：3000円

西尾雄志

交流の家・年末キャンプ（FIWC関西）

期間：2001年12月26日（水）〜30日（日）

今年も交流の家で年末キャンプをします。今年のワークは一階廊下の床の張替え。日程は12月26日（夕方）から30日までで、30日は餅つきをします。床の張替えには時間がかかるので、22日か23日から解体作業をする準備キャンプをします。

戸張岳陽

フリマ開催（バングラキャンパー有志）

12月15日（土）

日時：2001年12月15日（土）10:00〜16:00

場所：新宿中央公園

バングラメンバーを中心にフリーマーケットを行ないます。フリマの収益金は、バングラデシュのために何らかの形で使われます。このフリマも今回で3回目を迎え、商品が不足してきているので、フリマで売れそうな商品を提供してくれる方は下記まで御連絡ください。

吉岡華子

フリマ開催（ネパールキャンパー有志）

12月15日（土）

日時：2001年12月15日（土）10:00〜16:00

場所：明治公園

バングラメンバー主催のフリマと同日、明治公園にて、ネパールメンバーも今回はじめてフリマを決行します。今回のフリマには、キャンプリーダーの小野君が下見で仕入れてくるネパールの小物も商品としてならぶ予定です。なお収益金は現在行なっている学校建設の費用に充てられます。当日あったかい差し入れ募集だそうです。

宮本久美子

第3回大阪ワークキャンプ（GOOD）

期間：2001年12月27日〜2002年1月2日

（関東組は、26日に青春18切符で出発です！）

先月の定例会報告で紹介したNGO団体GOODの大阪キャンプの募集です。関西委員会の年末キャンプのついでに行って見よう!!　以下、GOODのホームページ（http://www18.xdsl.ne.jp/~isk/）からの抜粋です。

定員：18名程度

場所：大阪府西成区、釜が崎と呼ばれる地域。

内容：子どものための施設での大掃除や餅つきなどを手伝います。そのほか、バザーの手伝い、夜回り、炊き出しなど。人々はとても暖かく、そして力強く生きています。一度は訪れて欲しい場所です。

なお、GOODでは2月にスリランカでのワークキャンプも企画中みたいです。興味のある人は、下記に書いてあるGOOD事務所まで連絡してみよう!

GOOD東京オフィス

救護施設「あかつき」文化祭

11月29日（木）

日時：2001年11月29日（木）10時頃から16時頃

小平市にある「救護施設あかつき」という福祉施設で働く原田です。この施設には精神障害を持つ人達が生活していますが、今月末に文化祭のような祭を企画しています。そこで、興味があり都合のつく方は是非

ともボランティアで来て盛り上げて欲しいのです！役割は喫茶店や雀荘!?やらゲームコーナー、コンサートなどの手伝いです。都合のつく時間帯だけでもOK、見学のみも大歓迎！！詳しくは原田健一まで連絡を！

原田健一

ネパールキャンプ（SCI）

期間：2002年2月19日～2週間（予定）

場所：ネパール・カトマンズ

ワーク内容：障害児の通う学校が資金不足で建設途中になっているので、新しい教室を増やして通える生徒数をふやそう！　具体的な作業はレンガ運び・レンガ積み・セメント練りなど。（ちなみに昨年は教室2部屋とグランド、門を作りました。）

参加費：5万円（航空券代、別）→新しい試みの「現地集合」です。つまり、勝手にチケットとって、ネパールまできてください。まあ、事前に説明ちゃんとするから大丈夫。

＜1分間PR＞ネパールはすんごく過ごしやすいところです。料理もおいしいです。ヒマラヤ見れます。ラフティングしましょう！　ネパール人はとてもフレンドリーなので友達になれます。障害をもって、そして貧しいのに、すごく元気な生徒と一緒にあそびましょう！　っということで、説明会が11月14日（水）18時からと11月18日（日）15時から学習院大学であります（12月も説明会開催の予定）。興味持ってくれた方は、下記まで連絡してください。ネパールキャンプの掲示板（ねぱねぱねぱーる：http://www61.tcup.com/6108/kumi.html ）もあるので書き込んでくれてもいいし。どうぞよろしく。

宮本久美子

キャンプ問い合わせ先：

SCI-Japan 豊田

小野浩平

フィリピンキャンプ（FIWC関東）

開催予定：2002年夏

春開催に向け、10月の中旬から約2週間で下見を行う予定でした。しかし、米同時多発テロを受け、スタッフで話し合った結果、いったん下見を保留にしました。予定していたレイテ島地方は、イスラム教徒の多いミンダナオ島に隣接していること。レイテ島の森の奥のほうには、共産主義ゲリラの活動があること。今回の一連の事態で彼らに影響してしまう可能性のことなど、多数の理由を勘案し、春の実施を見送りました。

もちろん我々は、フィリピンでの活動は継続していきますし、より内容の濃いものに仕上げたいと思っています。 すべては行かなければ分からないことですし、現地の状況は不透明感を増すばかりですから、スタッフでの会議も何度も行い、今我々が検討中なのは、夏実施に向け、春の長期にわたる下見です。

社会情勢を踏まえた上で、我々ができること、必要とされていることはいったいなんなのか、ワークキャンプを通して見出せるものはなんなのか、改めて考えている最中です。今、スタッフの中で出されている案には、外国人も含めた平和キャンプや、フィリピンの社会情勢にあった、もう一歩踏み込んだ形のワークキャンプなどがあり、今後も検討し、深めていくつもりです。

どんなものでもいいので皆さんの考え、意見、提案をお聞かせください。お願いします。

フィリピンキャンプリーダー：田中祐也

田中祐也

バングラキャンプ（VHELA［ベラ］）

期間：2002年2月11日～26日（予定）

費用：15万円程度（予定）

VHELA（ベラ）は今年の7月、現在大学を休学してバングラディシュで長期ボランティアをしている平山雄

FIWC関東定例委員会報告

一さんと現地の協力者が立ち上げた国際ボランティアNGOです。

夏にバングラディシュのカリアブ村というところでワークキャンプを開催し、トイレ作り、かまど作りなどのワークを行いました。そして、2002年の2月にもワークキャンプを行う予定です。ワーク内容は前回のトイレ作り、かまど作りに加えて農作業手伝いも行う予定です。

そこで、キャンプの参加者を募集するので興味のある方はぜひ説明会に来て下さい。なお、バングラディシュワークキャンプのホームページもあるので見て下さい。

説明会日程

2001年12月5日（水） 18:30〜20:30

2001年12月12日（水） 13:30〜15:00 15:30〜17:00

場所：飯田橋ボランティアセンター

（JR飯田橋駅徒歩2分）

バングラキャンプホームページ

http://www.banglacamp.org/

藤田準

意見交換・ほか

○関東委員会・広報担当募集！

次回の定例委員会で、FIWC関東委員会の名簿管理やイベントの案内を担当する広報委員を選出したいと考えています。立候補者を募ります。当日来られない方で立候補を希望する人や意見のある方は、事前に委員長までご連絡ください。

○FIWC関西委員会・新委員長就任！

関西委員会の委員長が入澤隆一さんから劉成道（ゆ・そんど）さんに変わりました。リュウちゃん、おつかれさま！　ソンディ頑張ってね！

モグネット
www.mognet.org
ワークキャンプの写真が満載！
ハンセン病関連の書籍も充実！
ワークキャンプ・イベント一覧アリ

FIWC関東委員会会計より

年会費は3000円です。

以下の方より年会費をいただきました。

足立陽子さん

むすび新聞・号外（2001年6月発行）へのカンパ

足立陽子さん、高崎真介さん、

ありがとうございました。

郵便振替 口座番号 00170-2-565117
加入者名：FIWC関東委員会

郵便貯金 記号10120 番号 62574261
口座名義：FIWC関東委員会

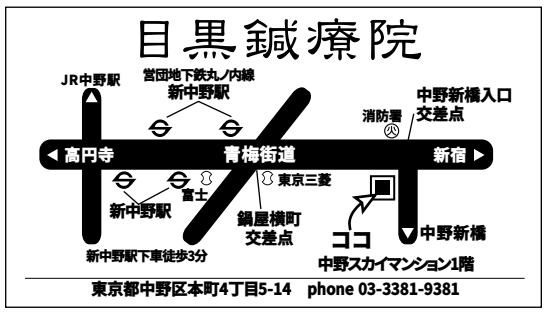
※領収証の発行を希望される方は、その旨お知らせください。

次回の定例会

2001年1月19日（土）19時から
東京・新中野「目黒鍼療院」にて

担当：西尾雄志

ネパールキャンプ直前情報のほか、春・夏開催のキャンプのお知らせなど。ぜひ足を運んでください！

フレンズ国際労働キャンプ（FIWC）関東委員会
委員長 西尾雄志
編集：茂木 亮
編集のお手伝い：笠眉彦

PDF版では電話番号など、個人の連絡先を掲載しておりません。ご質問等は以下のメールアドレスまで、メールにてお問い合わせください。
mog@mognet.org